

# 2018年3月期 第3四半期 決算説明会

2018年2月14日

堀田丸正株式会社

代表取締役社長 大西 雅美

(東京証券取引所第2部 証券コード8105)

- 会社名： 堀田丸正株式会社
- 創業： 1861年(文久元年、創業156年)
- 上場市場： 東京証券取引所 第2部
- 事業内容： 和装品、宝飾品、和装小物・寝装品等の卸売販売、  
婦人用品・意匠燃糸等の製造・卸売販売、  
横ニットの企画・製造・販売
- 従業員数： 連結 150名 (2017年9月末日時点)

おかげさまで156年

堀田丸正 株式会社



※意匠燃糸(いしょうねんし)とは:

- ・糸の表面に色や形状の加工をし、特徴のある表情や風合い、装飾効果を持たせた糸素材
- ・燃糸(ねんし)技術は、アパレル等の繊維製品の質感、肌触り、デザイン、耐久性などの品質・付加価値を左右する重要な要素技術

## ①RIZAP連結後の2Q-3Q累計は営業利益60%増

- ・和装事業、洋装事業が収益を大幅に改善
- ・意匠撚糸事業は国内が収益改善も中国下降
- ・トップラインは馬里邑事業付加で9%増

## ②更なる収益性向上のためのコスト構造改革の実施

- ・3Qで販売管理比率0.5%改善
- ・子会社吉利での事業所廃止、統合
- ・グループ人事交流による人件費圧縮

## ③不採算事業の切り離し、保有株一部売却

- ・タケオニシダ事業の譲渡(10月31日)
- ・株式売却益1600万計上

# 決算概要

## 連結損益計算書(第3Q累計)

- トップラインは洋装事業が29%増、意匠燃糸事業が0.3%増と全体を牽引。
- 半面、和装事業が12%減、寝装事業が8%減と低下傾向に歯止めがかからず。
- 売上総利益率悪化も販売管理費率1%以上の改善で、前年並みの営業利益計上
- タケオニシダ事業譲渡時の特別損失計上があり、株売却益を加味しても当期純利益減  
(単位:百万円)

	2017年3月期 第3Q累計	2018年3月期 第3Q累計	増減額	増減率
売上高	5,570	5,878	+308	+5.5%
売上総利益	1,819	1,873	+54	+3.0%
販管費	1,727	1,782	+55	+3.1%
営業利益	91	90	△1	△1.1%
経常利益	117	89	△28	△23.6%
当期純利益	95	66	△29	△30.7%

# セグメント別実績(第3Q累計)

- 連結では、トップライン大幅拡大するも、利益ベースでは前年水準維持。
- 洋装事業が大幅増益するも、他事業は減益。

(百万円：%)

	売上高				セグメント利益			
	2016/12	2017/12	増減額	前年同期比	2016/12	2017/12	増減額	前年同期比
<b>連結</b>	5,570	5,878	+308	+5.5	91	90	△1	△1.1
<b>洋装事業</b>	1,857	2,403	+546	+29.4	24	99	+75	+312.5
<b>意匠撚糸事業</b>	1,563	1,567	+4	+0.3	128	121	△7	△5.5
<b>和装事業</b>	1,669	1,469	△200	△12.0	26	9	△17	△65.4
<b>寝装事業</b>	476	438	△38	△8.0	25	19	△6	△24.0
<b>本社・調整</b>	4	—	△4	—	△113	△159	△46	△40.7

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

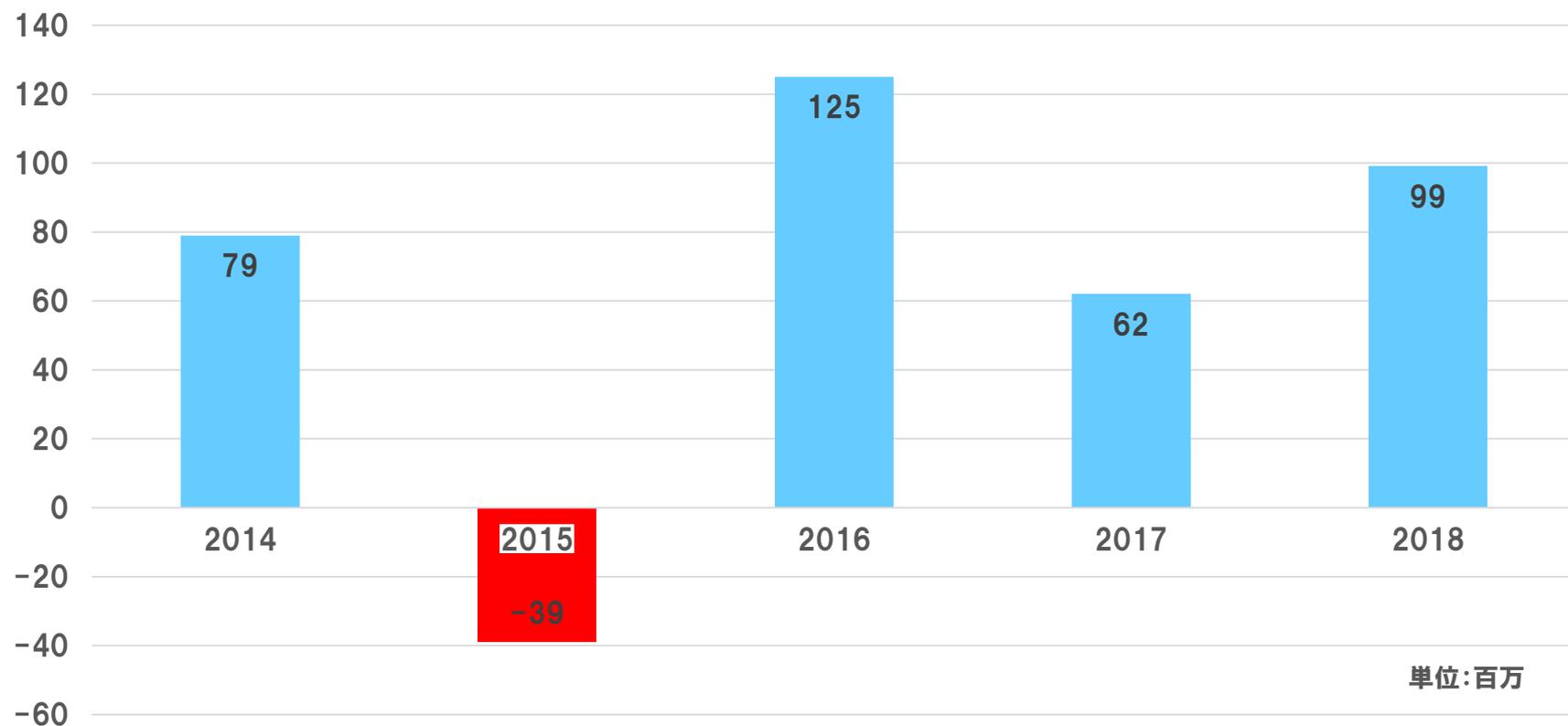
## 連結損益計算書(第2-3Q累計)

- RIZAPグループ連結後期間累計では、増収増益を達成。
- トップラインは、馬里邑を付加した洋装事業が45%増と全体を牽引。
- 構造改革による販売管理費抑制効果もあり、営業利益は60%増
- タケオニシダ事業の譲渡に伴う特損計上も保有株売却により最終増益

(単位:百万円)

	2017年3月期 第3Q累計	2018年3月期 第3Q累計	増減額	増減率
売上高	3,837	4,182	+345	+9.0%
売上総利益	1,228	1,323	+95	+7.8%
販管費	1,166	1,224	+58	+5.0%
営業利益	62	99	+37	+59.7%
経常利益	92	110	+18	+19.9%
当期純利益	84	92	+8	+9.5%

## 過去4期平均営業利益57百万を大きく上回る



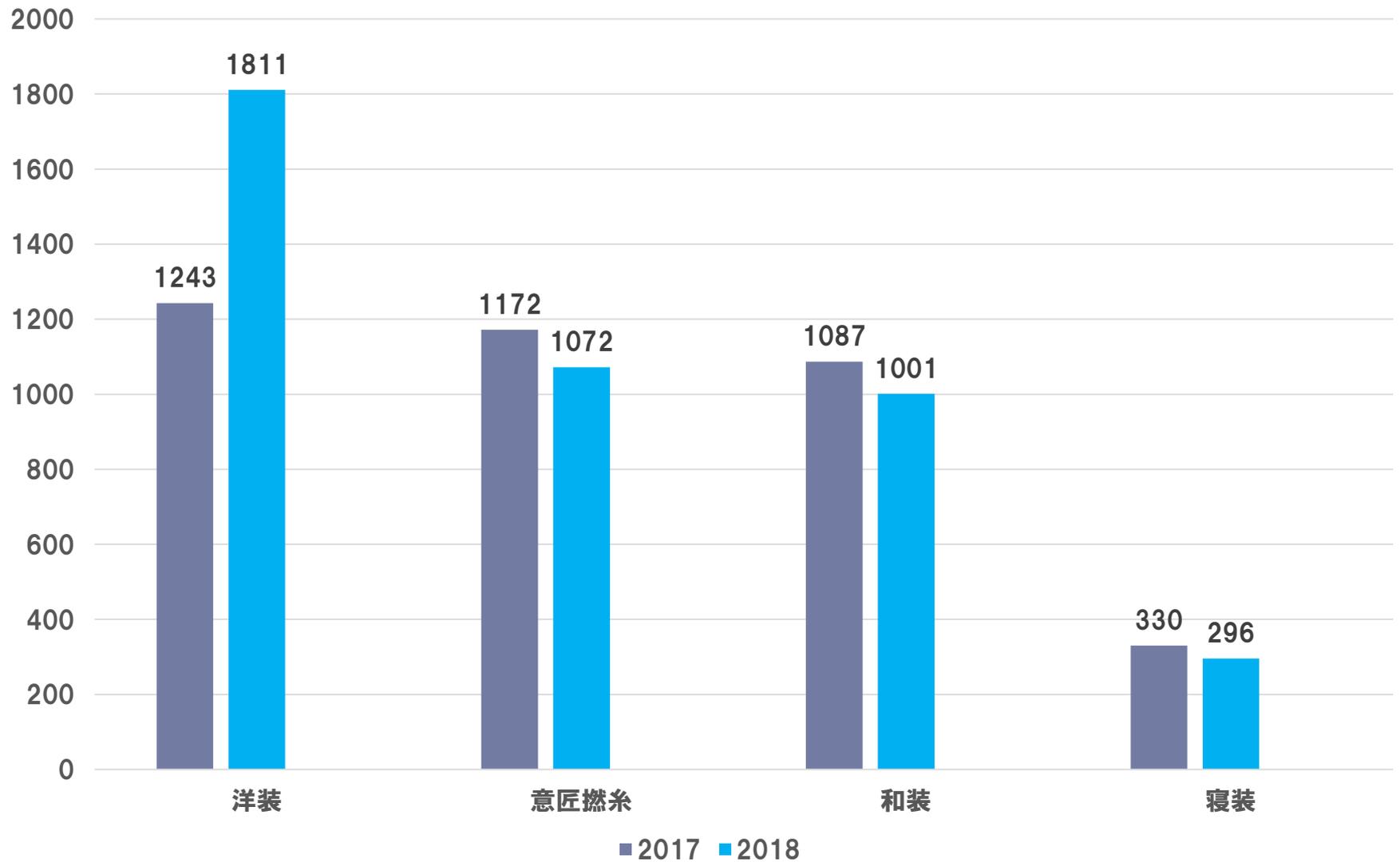
# セグメント別実績(第2-3Q累計)

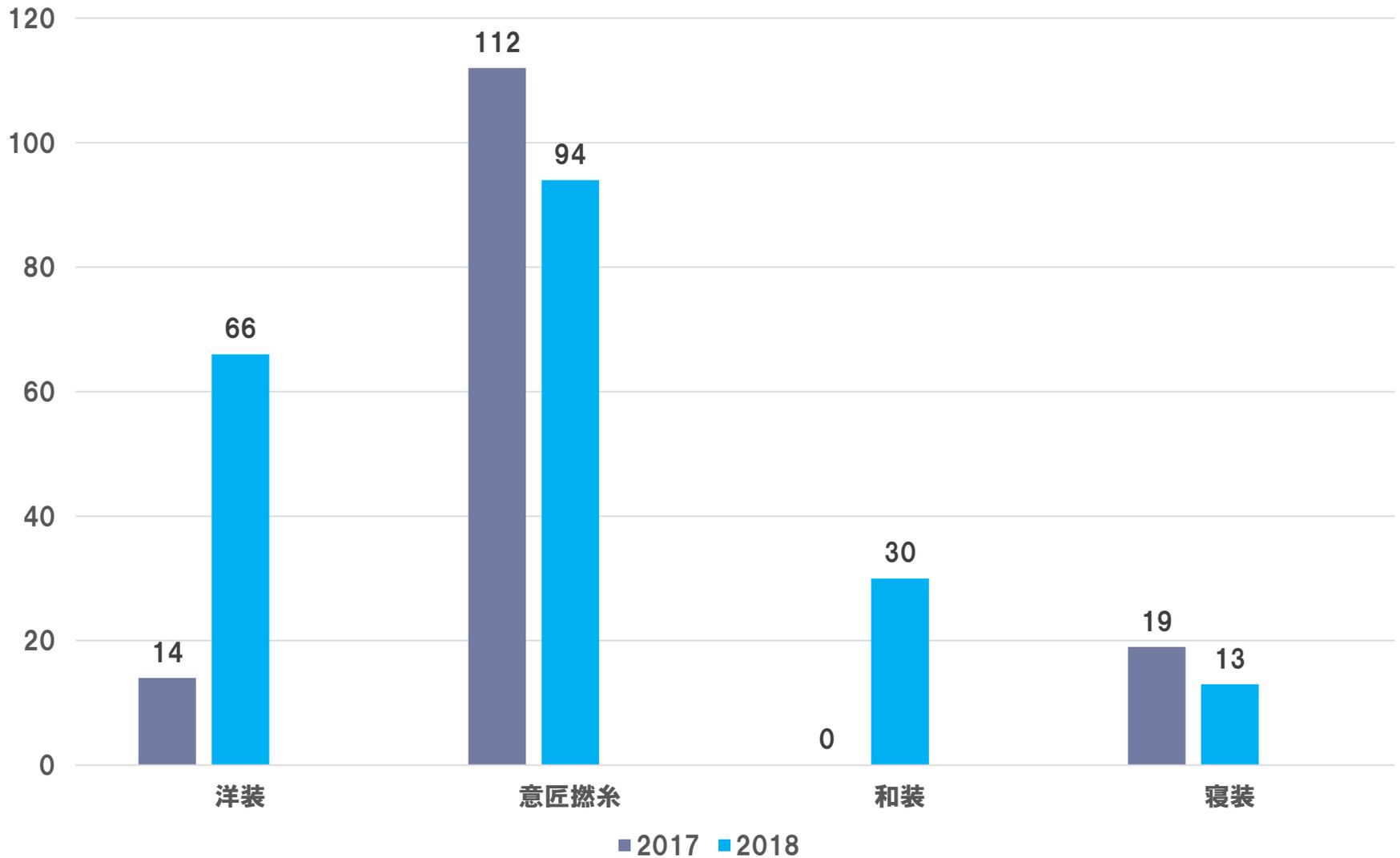
- 洋装事業はアパレル、馬里邑事業の売上増に加え、荒利率改善が奏功
- 和装事業は売上減少傾向も、事業所統合、人件費圧縮で利益最大化

(百万円：%)

	売上高				セグメント利益			
	2016/12	2017/12	増減額	前年同期比	2016/12	2017/12	増減額	前年同期比
<b>連結</b>	3,837	4,182	+345	+9.0	62	99	+37	+59.7
<b>洋装事業</b>	1,243	1,811	+568	+45.7	14	66	+52	+371.4
<b>意匠撚糸事業</b>	1,172	1,072	△100	△8.5	112	94	△18	△16.1
<b>和装事業</b>	1,087	1,001	△86	△7.9	△0	30	+30	—
<b>寝装事業</b>	330	296	△34	△10.3	19	13	△6	△31.5
<b>本社・調整</b>	2	—	△2	—	△84	△104	△19	△23.8

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。





**洋装事業**

馬里邑事業の付加による売上、営業利益増が全体を牽引

- ①馬里邑事業 売上+6”80百万 営業利益+28百万
- ②アパレル事業 営業利益+1.4百万(1.6%荒利率改善)
- ③丸福事業 営業利益+5.5百万(販売管理費削減)

**和装事業**

事業売上は93%も事業所統廃合等の効果で収益改善

- ①和装東日本 営業利益+0.5百万(2.6%荒利率改善)
- ②和装西日本 営業利益+9百万(販売管理費削減)
- ③子会社(株)吉利 営業利益+6百万(事業所統合)

**他事業**

売上97%も荒利率0.4%改善で収益性向上

- ①意匠燃糸(日本) 営業利益+3.6百万(0.4%荒利率改善)
- ②意匠燃糸(日本) 事業所を堀田丸正本社に統合
- ③監査室及び内部統制部署を堀田丸正本社へ統合

## 連結損益計算書(第3Q)

- トップラインは、洋装事業が馬里邑分の付加があり、30%増と拡大。
- 逆に和装16%減・寝装13%減・意匠燃糸事業17%減と低迷。
- 販売管理費は4百万削減するも、売上総利益の減少分までリカバリーできず。
- 営業利益ベースで27%減となる。

(単位:百万円)

	2017年3月期 第3Q	2018年3月期 第3Q	増減額	増減率
売上高	2,120	2,097	△23	△1.1%
売上総利益	681	655	△26	△3.8%
販管費	596	592	△4	△0.5%
営業利益	85	62	△23	△27.1%
経常利益	109	65	△44	△40.5%
当期純利益	100	54	△46	△45.7%

- 和装事業がトップライン減少も構造改革効果で増益達成
- 洋装事業は売上規模拡大するも、荒利率悪化で集積下降

(百万円：%)

	売上高				セグメント利益			
	2016/12	2017/12	増減額	前年同期比	2016/12	2017/12	増減額	前年同期比
<b>連結</b>	2,120	2,097	△23	△1.1	85	62	△23	△27.1
<b>洋装事業</b>	675	881	+206	+30.6	36	21	△15	△41.7
<b>意匠撚糸事業</b>	685	571	△114	△16.6	66	55	△11	△16.7
<b>和装事業</b>	575	485	△90	△15.6	23	25	+2	+8.7
<b>寝装事業</b>	182	157	△25	△13.5	12	7	△5	△41.7
<b>本社・調整</b>	1	—	△1	—	△52	△46	+6	△11.5

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

## 連結貸借対照表

●自己資本率は68.7%と2017/3期末比5.5%改善

●流動比率は87%と同期末比8.5%改善

(百万円)

資産の部	2017/3 期末	2017/12 末	増減額	負債・ 純資産の部	2017/3 期末	2017/12 末	増減額
流動資産	3,503	5,975	+2,471	流動負債	1,568	2,101	+533
固定資産	957	890	△66	固定負債	69	50	△19
資産合計	4,460	6,865	+2,405	純資産	2,821	4,713	+1,892
				負債・純 資産合計	4,460	6,865	+2,405

# 今後の経営方針

# 今後の経営方針

## ① 期初計画に基づく構造改革の継続推進

- ・事業所の統廃合及び縮小による効率改善
- ・コスト意識の醸成により、更なる経費節減
- ・グループ人材交流による人件費の圧縮

## ② 主力意匠撚糸及び洋装事業の更なる拡大

- ・意匠撚糸中国現地法人の収益性改善
- ・海外アカウント拡大のための欧米展示会参加
- ・馬里邑事業の効率化及び拡大推進

## ③ RIZAPグループ推進のSPA戦略の基盤づくり

- ・中国現地法人によるライセンス取得
- ・RIZAPグループSPA戦略推進室との連携強化

## 重要方針/戦略

## 概要説明

## 方向性

1  
意匠撚糸事業の拡大

中国現地法人による海外企業向けの意匠撚糸共有の飛躍的な拡大を図る

既存の上海展示会に加えて、パリ・ミラノでの展示会参加し、新アカウント開発を推進

2  
意匠撚糸事業の収益性改善

従来中国商社経由での取引を直取引に変更することでマージン負担軽減

堀田上海の収益構造見直し  
東京事業所の本社移転で賃料減

3  
洋装事業の拡大強化

2017年7月の営業部門を取込んだ馬里邑事業の効率化を実現し、洋装事業の牽引役に転換

洋装事業の主力事業化を実現

4  
和装事業の効率化

売上規模縮小と連動したコスト削減を継続実施、利益創造をはかる

京都事業所の賃借面積を半減。  
コスト負担大のホテル催事中止。  
(株) 吉利の利益最大化

5  
寝装事業の再構築

事業部体制の抜本的な変更により、収益体質への転換をはかる。

寝装営業体制を見直し、売上拡大、効率化実現  
ギフト事業の更なる拡大

(単位:百万円)

	2017年3月期 年間	2018年3月期 年間	増減額	増減率
売上高	7,488	7,500	+12	+0.2%
売上総利益	2,398	2,400	+2	+0.1%
販管費	2,311	2,289	△22	△1.0%
営業利益	86	111	+25	+28.3%
経常利益	108	110	+2	+1.2%
当期純利益	86	75	△11	△13.6%

●3Qまでの売上計画進捗度78%、営業利益計画進捗度82%

- ①前期3Q累計売上進捗に対して、4%の進捗改善
- ②前期3Q累計営業利益進捗に対して、24%の進捗悪化

# 免責事項

**本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。**